

歯科材料 2 歯冠材料

管理医療機器 歯科メタルセラミック修復用陶材 70802000

ゼオセライト

【禁忌・禁止】
本材又は類似製品で作製された歯冠修復物に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。

* **【形状・構造及び原理等】**
本材は以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成名	形状	成分
オペーク	ペースト	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, ポリエチレングリコール, その他
	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
デンティン	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
エナメル	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
オペークデンティン	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
マージン	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
トランスルーセント	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
アクセント	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
ガム	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
サブリメント	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他
ステイン	ペースト	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, ポリエチレングリコール, その他
	粉末	SiO ₂ 系ガラス粉末, 顔料, その他

【付属品】		
オペーク希釈液	液	ポリエチレングリコール, その他
陶材練和液	液	蒸留水, その他
マージン離型剤	液	シロキサン, その他
ステイン希釈液	液	ポリエチレングリコール, その他
焼付合金表面改質剤	ペースト	Au 粉末, プロピレングリコール, その他
焼付合金表面改質剤希釈液	液	プロピレングリコール

【使用目的又は効果】
主に、歯科メタルセラミック修復物の製作に用いる。

【参考】
・適用金属
熱膨張係数 13.7～15.0×10⁻⁶/℃の範囲にある歯科メタルセラミック修復用合金に使用できる。
(推奨金属) ゼオマタル 87、ゼオマタル 53、ゼオマタル ST 等

* **【使用方法等】**
・焼成スケジュール

焼成の種類	乾燥時間 (分)	開始温度 (℃)	昇温速度 (℃/分)	焼成温度 (℃)	係留時間 (分)	減圧 (kPa)
表面改質剤	5-8	700	70	900	0	大気
オペーク陶材	5-10	450-500	60	920	1	97
マージン、デンティン陶材等	6-9	550-600	60	900	1	97
セルフグレーズ	4	550-600	60	880	1	大気
サブリメント	6	550-600	60	790-830	1	97
ステイン (内部)	4	550-600	60	820	1	97
ステイン (表面)	4	550-600	60	880	1	大気

※温度、時間等は目安であり、焼成状態は炉の種類や形状によって異なるため、使用している電気炉にて試験焼きを行い焼成温度が適正であることを確かめてから使用すること。

※陶材とメタルフレームとのなじみをよくしたい場合は、表面改質剤をご利用下さい。(1)のスーパーオペーク陶材の塗布・焼成作業工程の前にメタルフレームの陶材築盛面に塗布し、次のスケジュールで焼成を行った後、(1)のスーパーオペーク陶材の塗布・焼成作業工程に進んで下さい。

- (1) スーパーオペーク陶材の塗布・焼成
スーパーオペーク陶材を容器中で均一に攪拌し、必要量を練板上に取り出して下さい。スパチュラを用いて気泡を潰す様に均一に練和します。適当な粘性が得られない場合は、オペークリキッドで調節して下さい。練板上の陶材をメタルフレームの陶材焼付面に薄く塗布し、軽くコンデンスを行い、上記スケジュールで焼成します。
- (2) シェードオペーク陶材の塗布・焼成
シェードオペーク陶材をスーパーオペーク陶材と同様に攪拌後、必要量を練板上に取り出し、スパチュラを用いて練和します。適当な粘性が得られない場合は指定のオペークリキッドで調節して下さい。スーパーオペーク陶材を遮蔽する様に全体に薄く塗布し、軽くコンデンスを行い、上記スケジュールで焼成します。
- (3) オペークデンティン、デンティン陶材の築盛
サービカル部にオペークデンティン陶材を単体又は、アクセント陶材 (T-Salmon) を併用して、色調の移行を考慮し、歯頸部から切端に向かって薄くなるように築盛します。デンティン陶材で最終歯冠形態に回復した後、エナメル陶材を築盛する部位のカットバックを行います。
(必要に応じて、不透明象牙質の再現や指状構造の強調を行う場合は、アクセント陶材を築盛します。)
- (4) エナメル、トランス陶材の築盛
エナメル陶材を最終歯冠形態のやや大きめ (1.3～1.5 倍) に焼成時の収縮を考慮しながら切端部へ移行的に築盛します。模型から撤去しコンタクト部やボンティック基底部に追加築盛した後、上記スケジュールで焼成します。
(トランス陶材を使用する場合は、エナメル陶材を築盛後、歯冠 2 分の 1 ほどカバーします。)
- (5) 形態修正、グレーズ焼成、完成
カーボランダムポイント、ダイヤモンドポイント、ホワイトポイント等を用いて形態修正を行います。必要に応じて陶材用シリコンポイントで表面の研磨を行います。形態修正後、蒸留水又はアルコールで超音波洗浄します。その後、上記スケジュールでグレーズ焼成を行って下さい。
焼成後、舌側面の金属を研磨します。必要に応じてブラシ、パフ等を用い、ポーセレン艶だし材で陶材面の艶だし研磨を行って下さい。

- 【使用方法に関連する使用上の注意】**
(1) 他の製品との混用はしないこと。
(2) 口腔内で本材の切削や研磨を行わないこと。

- 【使用上の注意】**
1) 使用注意
(1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が表れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。また、本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
(2) 本材及び有機溶剤に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また、本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が表れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
(3) 本材が万一目に入った場合には、すぐに流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

2) 重要な基本的注意

- (1) 本材の切削・研磨作業の際には、局所吸塵装置や公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。また、目の損傷を防ぐために保護眼鏡を着用すること。
- (2) 本材を使用する際は、適切な換気を行うこと。

**** 【保管方法及び有効期間等】**

〔使用期限〕

- ・本材のうちペースト及び液製品については、包装に記載の使用期限※までに使用すること。

〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による〕

※（例  2017-07 は、使用期限 2017 年 7 月末日を示す。）

**** 【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：YAMAKIN 株式会社

住所：〒781-5451

高知県香南市香我美町上分字大谷 1090-3

テクニカルサポート：☎ 0120-39-4929

ホームページアドレス：http://www.yamakin-gold.co.jp